

事務局通信

「Pongsak Sahunalu 先生
を悼む」
【8 ページ】

**学会メーリングリスト([info_jaste]ML)への登録について**

日本熱帯生態学会は今後、紙媒体での TROPICS やニューズレターの配布数を削減し(電子媒体への切り替え)、事務作業の効率化やコスト削減を目指す方針です。この改革の一環として、よりスピーディーで確実なコミュニケーションツールとして、学会メーリングリスト(ML)を活用したいと考えております。つきましては、会員の皆様のメールアドレスを原則として ML へ登録させて頂きたく存じますので、ご了承のほどよろしくお願い致します。学会にすでに登録されているメールアドレスに ML 登録についての通知を送ります(ご自宅用と所属先の両方のメールアドレスをご登録頂いている場合は、ご自宅用のメールアドレスを ML に登録させて頂きます)。登録に問題の無い方は、特に対応いただくことなく結構です。

下記の場合は、事務局まで返信メールをお送りください。

- 1) ML への登録にご了承頂けない場合
- 2) 登録メールアドレスを変更したい場合

また、メールアドレスをご登録いただいていない場合には、事務局までご連絡ください。

第 30 回総会議案の承認についてのごお願い

第 30 回年次総会で下記案件が仮承認されましたが、出席者が定足数に達していないため、本ニューズレターを通して、会員の皆様の意見を集約します。コメント・御意見を学会事務局(jaste.adm@gmail.com)までお願いいたします。御意見等を集約した後に、問題が無ければ下記総会議案を承認されたことといたします。締切:2020 年 9 月末日。(幹事長:保坂 哲朗)

記**掲載記事**

- 1 事務局通信
学会メーリングリストへの登録について
- 1 第 30 回総会議案の承認についてのごお願い
- 8 Pongsak Sahunalu 先生を悼む 神崎 護
- 10 JASTE30 オンライン開催のお知らせ

日本熱帯生態学会第 30 回定例総会
日時:2020 年 6 月 13 日(土)
場所:Zoom によるオンライン総会
議題:

- I-1. 2019 年度事業報告(案)
- I-2. 2020 年度事業計画(案)
- II-1. 2019 年度会計報告(案)
- II-2. 2020 年度予算(案)
- III. 第 31 回日本熱帯生態学会年次大会開催予定
- IV. その他

I-1. 2019 年度事業報告(案)

1. 研究会, 研究発表会の開催

(1) 第 29 回年次大会(札幌大会)の開催

2019 年 6 月 14 日(金)~16 日(日)

北海道大学大学院環境科学院

大会実行委員長:大崎 満

大会実行委員会:露崎 史朗, 甲山 隆司, 平野
高司, 井上 京, 波多野 隆介,
藤井 賢彦, 高橋 英紀, 小池
孝良

連携学会:東南アジア学会, 日本アフリカ学会, 日
本サンゴ礁学会, 日本タイ学会,
日本泥炭地学会, 日本熱帯農
業学会, 日本マングローブ学会

共催:北海道大学大学院環境科学院

(2) 公開シンポジウム「泥炭地を巡る炭素の話」の開催

2019 年 6 月 16 日(日)北海道大学環境科学院
D201 大講義室

(3) ワークショップ等の開催, 後援, 助成

- ① 日本地球惑星科学連合 2019 年大会 (JpGU2019)におけるセッション「沿岸海洋生態系-2. サンゴ礁・藻場・マングローブ」の共催 (2019 年 5 月 28 日 千葉幕張メッセ)
- ② ラタン・ラル博士(前・国際土壌科学連合会長) 日本国際賞記念シンポジウム「土と持続可能な開発目標(SDGs)-アフリカの土・市街地の土-」の協賛(2019 年 9 月 2 日 日本学術会議講堂)
- ③ 森林総合研究所 REDD 研究開発センター令和元年度国際セミナー「REDD プラス・始動元年 2020-持続可能な開発のための国際移転可能な成果に向けて」の後援(2020 年 1 月 21 日 東京大学)

2. 定期, 不定期出版物の刊行

(1) TROPICS の発行

【2019 年度に発行した巻・号】

28 巻 1 号(2019 年 6 月 1 日発行)

原著論文 2 報 1-21

28 巻 2 号(2019 年 9 月 1 日発行)

原著論文 2 報 23-48

28 巻 3 号(2019 年 12 月 1 日発行)

原著論文 1 報 Field note 1 報 49-73

28 巻 4 号(2020 年 3 月 1 日発行)

原著論文 2 報 Field note 1 報 75-103

【原稿の編集状況(2020 年 5 月 11 日現在)】

2016 年度 受付 19 件:受理 9 件, 却下 10 件

2017 年度 受付 13 件:受理 4 件, 却下 7 件

2018 年度 受付 17 件:受理 9 件, 却下 5 件, 取り下げ 3 件(2 年修正稿が届かない 2 件含む)

2019 年度 受付 15 件:受理 11 件, 却下 3 件, 審査中 1 件

2020 年度 受付 1 件:審査中 1 件

(2) ニューズレターの発行

【2019 年度に発行したナンバー】

No. 115 2019 年 5 月 25 日発行 12 ページ
JASTE29 最終案内

No. 116 2019 年 8 月 25 日発行 12 ページ 総
会議案承認依頼, JASTE30 案内,
JASTE29 開催報告(実行委員会), 託
児サービス開催報告(四方篤), 書評
(相場慎一郎)

No. 117 2019 年 11 月 25 日発行 4 ページ 事
務局通信, JASTE30 案内, IUCN サイ
チョウ専門家グループの活動紹介(北
村俊平)

No. 118 2020 年 2 月 25 日発行 20 ページ 事
務局通信, JASTE30 案内, The 9 th
Asian Food Study Conference:
Diversity and Multiplicity of Asian
Food Culture 参加報告(辻貴司), 日
本の強風-地理的分布と植生の適応
戦略-(米田健), 書評(石橋弘之)

(3) 学会メールの送信

メールアドレスを登録している会員に対し, 概ね 1ヶ
月に 1 回程度メーリングリストを通じて, 求人,
TROPICS 目次, ニューズレター発行などの情報提
供を行った(広報幹事が担当).

(4) 上記以外にした仕事

① TROPICS28 巻 4 号までを J-STAGE にて公
開.

② 2015 年 3 月に, Web of Science への掲載と,
Impact factor の取得にむけ, トムソン・ロイター
社に申請を行った. 2017 年に Web of Science
に掲載された. 2019 年 1 月 Citation
performance が悪いので Impact factor を付与
しないとの回答. Tropics は Emerging Sources
Citation Index (ESCI) に掲載されており,
impact factor の付与についての審査は継続

中.

- ③ 2018年4月26日にScopusへの登録(審査)申請, 2019年3月20日にpublication ethics and malpractice statementがJournal websiteに無いため, 審査対象外との連絡. 2019年9月に学会ウェブサイトおよびJ-stageのTropicsのページにAuthors and Authors responsibilitiesを追記して, 更新. Scopus Title Evaluation Supportから上記では不十分と回答があった. 編集委員会において対応を協議中.

3. 第29回総会の開催

2019年6月15日(土) 北海道大学大学院環境科学院

4. 第30回評議員会の開催

2019年6月14日(金)15時～ 北海道大学大学院環境科学院

5. 第29回編集委員会の開催

2019年6月14日(金)13時～ 北海道大学大学院環境科学院

6. 幹事会の開催

第80回:2019年5月24日(金)～6月2日(月)
メールによる持ち回り幹事会

第81回:2019年11月29日(金)13時～17時 広島大学学士会館 第一会議室

7. 吉良賞

2019年度の吉良賞募集は, 選考規定にそって2019年2月28日に締め切った. 特別賞の申請者はなかった. 奨励賞は, 浅野郁氏(信州大学全学教育機構)が選考委員会で選考された. 受賞対象業績は以下のとおり.

浅野 郁 氏

「High degree of polyphagy in a seed-eating bark beetle, *Coccotrypes gedeanus* (Coleoptera: Curculionidae: Scolytinae), during a community-wide fruiting event in a Bornean tropical rainforest」

8. 第16期(2020～2021年度)会長・評議員選挙

(1) 会長

神崎 護

(2) 評議員(50音順)

相場慎一郎, 市榮智明, 市岡孝朗, 市川昌広, 伊

東 明, 井上 真, 落合雪野, 北島 薫, 北村俊平, 酒井章子, 佐藤 保, 竹内やよい, 竹田晋也, 田中憲蔵, 藤間 剛, 原田一宏, 百村帝彦, 保坂哲朗, 増田美砂, 山田俊弘

9. 学会事務局体制

(1) 日本熱帯生態学会監事・編集委員長・幹事

監事 酒井章子, 増田美砂
編集委員長 藤間 剛
幹事長 保坂哲朗
広報幹事 北村俊平, 百村帝彦
編集幹事 大橋伸太
財務幹事 奥田敏統
総務幹事 山田俊弘, 竹内やよい, 竹田晋也, 伊東 明(吉良賞担当幹事を兼任)
会計幹事 鳥山淳平
庶務幹事 及川洋征, 大石高典, 北島 薫, 佐々木綾子, 四方 篝, 諏訪鍊平

(2) 事務局・編集委員会・会計事務

【学会事務局】

〒739-8529 広島県東広島市鏡山1-5-1
広島大学 大学院国際協力研究科 開発技術講座
日本熱帯生態学会事務局 保坂哲朗(幹事長)
TEL: 082-424-6929
FAX: 082-424-6929
E-mail: jaste.adm@gmail.com

【編集委員会(投稿原稿の送付先)】

〒305-8687 茨城県つくば市松の里1
国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 企画部研究管理科実験林室(気付)
日本熱帯生態学会編集委員会 藤間 剛(編集委員長)
TEL: 029-829-8122
E-mail: tropics.jaste@gmail.com

【会計事務】

〒860-0862 熊本県熊本市中央区黒髪4丁目11-16
国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 九州支所
日本熱帯生態学会 会計事務担当 鳥山淳平
TEL: 096-343-3739
E-mail: jastetreasurer@yahoo.co.jp

(3) 評議員

相場慎一郎, 阿部健一, 市岡孝朗, 市川昌広, 伊東明, 井上真, 大久保達弘, 奥田敏統, 落合雪野, 北島薫, 北村俊平, 佐藤保, 竹田晋也, 田中憲蔵, 藤間剛, 百村帝彦, 増田美砂, 山田俊弘, 湯本貴和, 横山智

(4) 吉良賞選考委員会

落合雪野(選考委員長), 原田一宏, 増永二之, 米田令仁, 伊東明

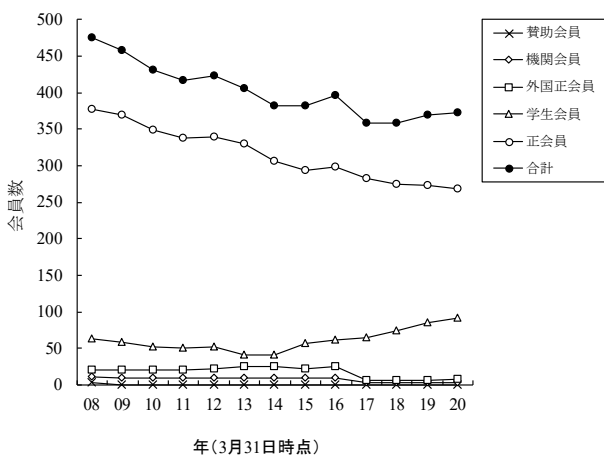
10. 会員動向

(1) 2019年度の会員動向(2020年3月31日現在)

種別	2019.3 現員	19年減	19年増	2020.3 現員
正会員	273	-12	+8	269(-4)
学生会員	86	-5	+10	91(+5)
外国人会員	7	-0	+1	8(+1)
機関会員	4	-0	+0	4(±0)
賛助会員	0	-0	+0	0(±0)
合計	370	-17	+19	372(+2)

カッコ内の数字は, 2019年3月31日からの変動

(2) 過去12年間の変動(2008年3月31日から2020年3月31日まで)



11. その他

(1) 「若手の国際学会(ATBC)参加に対する渡航費支援」の申請者の募集を, 2019年度のATBCについては2019年11~12月に, 2020年度のATBCについては2020年2~3月に行った。

(2) 第10回日本学術振興会育志賞に中村亮介氏(京都大学農学研究科)の推薦を行った(不採択)

I-2. 2020年度事業計画(案)

1. 研究会, 研究発表会の開催

(1) 第30回年次大会(広島大会)を6月12日(金)~6月14日(日)に計画していたが, 新型コロナウイルスの感染拡大の状況を受け, 大会実行委員会, 幹事会, 評議員会での協議の結果, 1年延期することを決定した(2020年4月8日発表)。

(2) 公開シンポジウム「サプライチェーンと熱帯林保全(仮題)」を広島大会に合わせて6月14日(日)に計画していたが, 広島大会延期に伴い1年延期となった。

(3) ワークショップ等の開催, 後援, 助成

- ① 日本地球惑星科学連合2020年大会(JpGU2020)におけるセッション「沿岸海洋生態系-2. サンゴ礁・藻場・マングローブ」の共催(2020年7月12~16日 オンライン大会)
- ② 第8回国際林冠学会(中国・シーサンパンナ植物園)の共催(2020年10月24~27日に予定していたが2021年に延期)

(4) 第30回年次大会(オンライン会議)の開催

第30回広島大会の1年延期により発表機会を失った会員の救済策として, 第30回年次大会をオンライン会議システムを利用して2020年11月に開催する。

2. 定期, 不定期出版物の刊行

(1) TROPICSの発行

- 29巻1号(2020年6月1日発行予定)
原著論文3報
- 29巻2号(2020年9月1日発行予定)
原著論文2報 Field note 1報
- 29巻3号(2020年12月1日発行予定)
- 29巻4号(2021年3月1日発行予定)

(2) ニューズレターの発行

No. 119~122を発行する
※No. 119は2020年5月25日に発行。

(3) 学会メールの送信

学会メーリングリストを通じて, 会員への情報提供を1ヶ月に1回行う(広報幹事が担当)。

3. 第30回総会の開催
2020年6月13日(土)15時～ オンライン会議
4. 第31回評議員会の開催
2020年6月13日(土)10時～ オンライン会議
5. 第30回編集委員会の開催
2020年5月16日(土)～22日(金) メール会議
6. 幹事会の開催
第82回:2020年5月29日(金)13時～ オンライン会議
その他、暫時必要に応じて開催する。
7. 吉良賞
2020年度の吉良賞募集は、選考規定にそって2020年2月29日に締め切った。特別賞の申請者はなかった。奨励賞は、中林雅氏(広島大学先進理工系科学研究科)が選考委員会で選考された。受賞対象業績は以下のとおり。

中林 雅 氏

「Limited directed seed dispersal in the canopy as one of the determinants of the low hemi-epiphytic figs' recruitments in Bornean rainforests」

8. 学会事務局体制
- (1) 日本熱帯生態学会監事・編集委員長・幹事
- | | |
|-------|----------------------------------------|
| 監事 | 酒井章子, 増田美砂 |
| 編集委員長 | 藤間 剛 |
| 幹事長 | 保坂哲朗 |
| 広報幹事 | 北村俊平, 百村帝彦 |
| 編集幹事 | 大橋伸太 |
| 財務幹事 | 奥田敏統 |
| 総務幹事 | 山田俊弘, 竹内やよい, 竹田晋也,
伊東 明(吉良賞担当幹事を兼任) |
| 会計幹事 | 鳥山淳平 |
| 庶務幹事 | 及川洋征, 大石高典, 北島 薫,
佐々木綾子, 四方 篝, 諏訪錬平 |

- (2) 事務局・編集委員会・会計事務

【学会事務局】

〒739-8529 広島県東広島市鏡山1-5-1
広島大学 大学院先進理工系科学研究科 理工学融合プログラム
日本熱帯生態学会事務局 保坂哲朗(幹事長)

TEL: 082-424-6929
FAX: 082-424-6929
E-mail: jaste.adm@gmail.com

【編集委員会(投稿原稿の送付先)】

〒305-8687 茨城県つくば市松の里1
国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 国際連携・気候変動研究拠点(気付)
日本熱帯生態学会編集委員会 藤間 剛(編集委員長)
TEL: 029-829-8326
E-mail: tropics.jaste@gmail.com

【会計事務】

〒860-0862 熊本県熊本市中央区黒髪4丁目11-16
国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 九州支所
日本熱帯生態学会 会計事務担当 鳥山淳平
TEL: 096-343-3739
e-mail: jastetreasurer@yahoo.co.jp

(3) 評議員

相場慎一郎, 市榮智明, 市岡孝朗, 市川昌広, 伊東 明, 井上 真, 落合雪野, 北島 薫, 北村俊平, 酒井章子, 佐藤 保, 竹内やよい, 竹田晋也, 田中憲蔵, 藤間 剛, 原田一宏, 百村帝彦, 保坂哲朗, 増田美砂, 山田俊弘

(4) 吉良賞選考委員会

伊東 明, 北島 薫, 田中壮太, 百村帝彦, 米田令仁

II-1. 2019年度会計報告(案)

後掲

II-2. 2020年度予算(案)

後掲

III. 第31回日本熱帯生態学会年次大会開催予定

2021年6月 広島大学において開催予定
大会実行委員長:奥田敏統
大会実行委員会:山田俊弘, 保坂哲朗, 中林 雅
連携予定学会:東南アジア学会, 日本アフリカ学会, 日本サンゴ礁学会, 日本タイ学会, 日本泥炭地学会, 日本熱帯農業学会, 日本マングローブ学会
公開シンポジウム:「サプライチェーンと熱帯林保全(仮

題)」

IV. その他

1. ATBC との合同大会の開催について

2019 年度の幹事会および評議員会において JASTE と ATBC の京都における合同大会の開催について承認された。時期は 2021 年 7 月を想定していたが、新型コロナウイルスの影響で 2020 年の ATBC コロンビア大会が 2021 年 7 月に延期となり、合同開催は 2022 年以降になる見通し。合同開催について再び具体的に動き出すことになれば、改めて評議員会で諮る予定である。

2. 会費に関する学会規約細則の変更について

下記の通り、会費に関する学会規約細則の変更を行い、学生会員年会費を減額することを提案する。理由としては、1) 学生・留学生にとって入会しやすい学会にすることで、若手育成に貢献できること、2) 現状の定常的な繰り越し金の解消につながることで、挙げられる。学生会費を現在より 2000 円減額することで、会費収入は 10 万円程度減少する可能性があるが、現在の収支状況を勘案すると十分可能な範囲である。また、将来的にはオンラインジャーナルなどへの移行の可能性が大きく、会費の値下げは長期的に見ても可能である。今後、正会員会費の減額やシニア・生涯会員制度の導入なども検討予定である。

(変更前)

第6条 会費は次のとおり定める。

正会員年額	8,000 円
<u>学生会員年額</u>	<u>4,000 円</u>
賛助会員年額一口	100,000 円
機関会員年額	16,000 円

外国会員

正会員年額	US\$50
機関会員年額	US\$140

(変更後)

第6条 会費は次のとおり定める。

正会員年額	8,000 円
<u>学生会員年額</u>	<u>2,000 円</u>
賛助会員年額一口	100,000 円
機関会員年額	16,000 円

外国会員

正会員年額	US\$50
機関会員年額	US\$140

3. JASTE 若手部会(仮称)の立ち上げについて

若手支援は 2017 年度から若手の集会支援などとして毎年 20 万円ずつ計上しているが、未だに執行されたことがなく、繰越金問題の原因の一つとなっている。昨年度からは若手の国際学会(ATBC)参加支援を開始したが、2019 年度および 2020 年度の両 ATBC について、申請は 0 件であった。この原因として、そもそも学会事務局の方針が若手のニーズにマッチしていないことが考えられる。したがって、より若手の要望を取り入れやすくするため事務局の一部として JASTE 若手部会を立ち上げたいと考える。若手部会は、学会の発展に向けて意欲のある若手会員(学生～ポストドク程度)から構成され、若手学会員と学会事務局のパイプ役となったり、若手のニーズを反映したイベント企画を行ったりすることが期待される。活動資金は当面のところ事業費から支弁可能であると考ええる。

日本熱帯生態学会 2019年度決算(案)

一般会計		A	B	A-B
		2019年度決算(案)	2019年度予算	差額
1. 収入の部		7,372,001	7,415,012	43,011
(1) 会費	会費小計	2,298,139	2,492,000	193,861
	正会員(8,000円×260名)	2,056,000	2,080,000	24,000
	学生会員(4,000円×87名)	180,000	348,000	168,000
	機関会員(16,000円×4機関)	48,000	64,000	16,000
	賛助会員(100,000円×0口)	0	0	0
	海外会員	14,139		14,139
(2) 雑収入	雑収入小計	350,850	200,000	150,850
	利息	2		2
	別刷売上	6,100		6,100
	バックナンバー売上	0		0
	年次大会収入	251,801		251,801
	掲載料等	58,000		58,000
	寄付	0		0
	その他:学術著作権	34,947		34,947
(3) 前年度繰越金		4,723,012	4,723,012	0

日本熱帯生態学会 2020年度予算(案)

一般会計		2020年度予算(案)
1. 収入の部		7,516,623
(1) 会費	会費小計	2,432,000
	正会員(8,000円×255名)	2,040,000
	学生会員(4,000円×82名)	328,000
	機関会員(16,000円×4機関)	64,000
	賛助会員(100,000円×0口)	0
	海外会員	
(2) 雑収入	雑収入小計	100,000
	利息	
	別刷売上	
	バックナンバー売上	
	年次大会収入	
	掲載料等	
	寄付	
	その他:学術著作権	
(3) 前年度繰越金		4,984,623

日本熱帯生態学会 2019年度決算(案)

一般会計		A	B	A-B
		2019年度決算(案)	2019年度予算	差額
2. 支出の部		7,372,001	7,415,012	43,011
(1) 運営費	業務委託費	406,164	500,000	△ 93,836
	印刷費	0	10,000	10,000
	消耗品費	2,197	20,000	17,803
	通信運搬費	1,850	100,000	98,150
	会合費	0	10,000	10,000
	旅費	50,540	300,000	249,460
	賃金	0	10,000	△ 10,000
	ホームページ運営費	33,000	100,000	67,000
(2) 事業費	年次大会	200,000	200,000	0
	ワークショップ	150,000	150,000	△ 0
	若手研究者の海外研究会の参加支援	0	200,000	△ 200,000
	ダイバーシティ推進費	96,451	200,000	103,549
(3) 出版費	印刷費	1,070,457	2,000,000	△ 929,543
	編集費	71,452	200,000	128,548
	通信運搬費	198,266	300,000	△ 101,734
(4) 雑費		5,874	50,000	44,126
(5) 役員選挙費用		101,127	300,000	198,873
(6) 予備費		0	2,765,012	2,765,012
(7) 次年度繰越金		4,984,623	0	4,984,623

日本熱帯生態学会 2020年度予算(案)

一般会計		2020年度予算(案)
2. 支出の部		7,516,623
(1) 運営費	業務委託費	500,000
	印刷費	10,000
	消耗品費	20,000
	通信運搬費	100,000
	会合費	10,000
	旅費	300,000
	賃金	10,000
	ホームページ運営費	100,000
(2) 事業費	年次大会	200,000
	ワークショップ	150,000
	若手研究者の海外研究会の参加支援	200,000
	ダイバーシティ推進費	200,000
(3) 出版費	印刷費	2,000,000
	編集費	200,000
	通信運搬費	300,000
(4) 雑費		50,000
(5) 役員選挙費用		0
(6) 予備費		3,166,623
(7) 次年度繰越金		0

日本熱帯生態学会 2019年度決算(案)

特別会計		A	B	A-B
		2019年度決算(案)	2019年度予算	差額
1. 収入の部		1,752,895	1,752,895	0
(1) 前年度繰越金		1,752,895	1,752,895	0
(2) 利息収入		0	0	0
2. 支出の部		1,752,895	1,752,895	0
(1) 吉良賞副賞		100,000	100,000	0
(2) 一般会計繰入		0	0	0
(3) 特別事業		0	0	0
(4) 次年度繰越金		1,652,895	1,652,895	0

日本熱帯生態学会 2020年度予算(案)

特別会計		2020年度予算(案)
1. 収入の部		1,652,895
(1) 前年度繰越金		1,652,895
(2) 利息収入		0
2. 支出の部		1,652,895
(1) 吉良賞副賞		0
(2) 一般会計繰入		0
(3) 特別事業		0
(4) 次年度繰越金		1,652,895

Pongsak Sahunalu 先生を悼む

神崎 護(日本熱帯生態学会会長・京都大学農学研究科)

カセサート大学林学部の名誉教授、Pongsak Sahunalu 先生の訃報が7月9日に届きました。享年77歳でした。日本熱帯生態学会とも繋がり深い先生なので、この誌面を借りて追悼の意を表したいと思います。

Pongsak 先生はタイ、カセサート大学林学部の造林学科のリーダー的存在として活躍されてきた。その略歴を紹介したい。カセサート大学林学部を卒業後、修士号をカセサート大学で取得した後、1971年10月から文部省の国費留学生として来日、半年の日本語研修の後に京都大学農学研究科の博士課程に入学された。四手井綱英先生が率いる森林生態学研究室で3年間を過ごし、堤利夫先生の指導のもと博士論文を提出し、タイへ帰国され、その後、カセサート大学林学部の、助教授、准教授、教授を歴任、タイにおける森林生態学の教育と研究をリードされてきた。2002年10月の退官の後、林学部の顧問などの形で20年近くにわたって学部の運営に助言を続けてこられるとともに、宇都宮大学や京都大学の招へい教授などとして日-タイの学術交流を担ってこられた(写真1)。

私事になって恐縮だが、先生とのエピソードを紹介したい。私の最初の海外調査は1984年のタイであった。当時大阪市立大学理学部の教授で、私の博士課程の恩師である依田恭二先生のプロジェクトに参加して、博士課程の3年目の10月から2か月間タイでの調査に参加した。空港の入国審査を終えたところで、Pongsak 先生が出迎えに出てくれていたのだが、見事な日本語に大変驚いたことが今でも思いだされる。このプロジェクトはその後1990年まで続くことになるのだが、Pongsak 先生からはタイの森林と樹木、社会や人付き合い、果ては夜の飲み会での作法に至るまで、手取り足取りというのも変だが、みっちり教えてもらった。タイで研究し、生活し、人脈を創っていくために必要なものを、先生から授けていただいた。その後の東南アジア各国での研究活動のための基盤は、この Pongsak 先生を通じて得ることができたと、本当に感謝している。当時このプロジェクトに参加した私と同年代のメンバーには、高知大学の櫻井克年さん、島根大学の川口英之さんらがいるが、同じ思いではないかと思う。

Pongsak 先生は、京都大学で学位を取られたこともあり、日本人との共同研究のパートナーとして、長年にわたって貢献されてきた。1970年代末からの研究プロジェクトには、久馬一剛先生とのナムプロムでの焼畑プロジ



写真1:2003年11月 京都大学で開催のワークショップにて。



写真2:2005年8月 ドイインタノン国立公園にて。Pongsak 先生、Kriangsak Sri-ngernyuang さんと私。

ェクト、上記の依田恭二先生との熱帯荒廃地の修復プロジェクト、森田学先生、渡辺弘之先生、竹田晋也さんらとのアグロフォレストリーや産米林プロジェクト、山倉拓夫先生との森林構造と土壌の研究などがある。また、本学



写真 3: 2013 年 8 月 京都滞在時に、左から Khitja Boonsri さん、金子隆之さんとお嬢さん、岩坪五郎先生、堤利夫先生、Pongsak 先生、私、竹田晋也さん。

会の設立当初からの海外会員として、学会の立ち上げにも貢献してくれたことを忘れることができない。TROPICS には先生の主著、共著あわせて 6 編が発表されており、その他にも国際誌に多くの共同研究成果が発表されている。

先生はまたカセサート大学から多くの留学生を大阪市立大学、京都大学、高知大学などに送り出してくれた。私は 1990 年代に入ってから、ドイインタノン国立公園やサケラート環境研究ステーションでの長期モニタリングや林冠植物の研究で、Pongsak 先生には引き続きお世話になるのだが、実質的なパートナーは Pongsak 先生の教え子にあたる人々に受け継がれていった。現在メジョー大学におられる Kriangsak Sri-Ngernyuang さん(写真 2)、Wichaphart Sungpalee さん、カセサート大学の Sakhan Teejuntuk さん、そして現在カセサート大学の学長を務めている Chongrak Wachrinrat さんらである。いずれも日本への留学や短期研修などを経験した人々である(写真 3)。

一方、Pongsak 先生ご自身はカセサート大学林学部の Sanga Sabhasri 先生の教え子で、この Sanga 先生は本学会の初代会長の吉良竜夫先生をはじめ、四手井綱英先生、小川房人先生、荻野和彦先生らと交流があり、その端緒は 1957 年から始まった大阪市立大学・京都大学が主導した東南アジア学術調査であった。Pongsak 先生ご自身の京都大学への留学も、日本とカセサート大学との長い交流の歴史の中に位置づけられることを思うと感慨深い。

最後に、先生が TROPICS で発表された論文を列記して、学会への大きな貢献に対して深く感謝するとともに、先生のご冥福をお祈りいたします。

TROPICS で発表された論文リスト(出版年順)

- Thoranisorn, S., Sahunalu, P., and Yoda, K. 1991. Density effects and growth analysis in some tropical forest plantations. *Tropics* 1: 35-47.
- 神崎 護, 原 正利, 大久保達彦, Sahunalu, P., Dhanmanonda, P., Bunyavejchewin, S., and Mathavararug, A. 2000. 熱帯山地林と温帯照葉樹林の比較群集論—ニッチ分割パターンの比較—. *Tropics* 9: 211-228.
- Watanabe, E., Sakurai, K., Junthotai, K., Tulaphitak, T., Narekul, T., Koonpan, P., Sampaopol, R., and Sahunalu, P. 2002. Performance of an agroforestry system in an erosion prone area of Northeast Thailand. *Tropics* 12: 1-17.
- Teejuntuk, S., Sahunalu, P., Sakurai, K., and Sungpalee, W. 2003. Forest structure and tree species diversity along an altitudinal gradient in Doi Inthanon National Park, Northern Thailand. *Tropics* 12: 85-102.
- Sahunalu, S. 2003. Rehabilitation of salt affected lands in Northeast Thailand. *Tropics* 13: 39-51.
- Doi, R., Sahunalu, P., Wachrinrat, C., Teejuntuk, S., and Sakurai, K. 2004. Changes in soil bacterial community profiles associated with deforestation in the Sakaerat Environmental Research Station, Thailand: comparisons between soils of the original forest and bare ground. *Tropics* 14: 39-53.

JASTE30 Online の開催について

第 30 回広島大会の 1 年延期により発表機会を失った会員 (特に若手) の救済策として、第 30 回年次大会をオンライン会議システムを利用して開催する予定です。本大会での発表は、通常の日熱帯生態学会大会と同様に公式な発表業績として認定されます。なお、来年の広島大会は JASTE31 になります。

開催期日: 11 月 21 日 (土) を予定

参加登録: 9 月 1 日 (火) から開始予定

発表形式: 口頭発表およびポスター発表を予定

発表資格: 学会員 (帰国した留学生会員の発表も認める)

参加資格: オープン (ただし、事前登録制とし、定員オーバーの場合は学会員優先とする)

詳細は大会ウェブサイト (<https://sites.google.com/view/jaste30online>) において随時ご案内いたします。

情報の更新にご注意いただけたら幸いです。

編集後記



自宅の横の休耕田に水を入れて放置するようになって 3 年目になります (用水の停水期間は水がない)。今年は環境の異質性を高めるため、中央部の周辺を掘り返し、その土を盛り上げて陸地を作ってみました。毎日やってくるカルガモが繁殖しないかと思っていたら、6 月中旬には少なくとも 7 個の卵を抱卵していました。巣の周辺のアメリカセンダングサが小さいうちは、自宅 2 階の窓から良く見えましたが (写真上)、7 月になると巣の周囲が草に覆われ、双眼鏡で見ても姿が見えないうらいになりました。順調にいけば 7 月下旬にカルガモ親子がウロウロする姿が見られるのではないかと考えていましたが、7 月 23 日の朝に確認したところ、孵化しなかった卵が 2 つ残されていました (写真下)。すでに巣立ってしまったようです。7 月 12 日に田んぼに散らばっていた羽毛は、営巣に使っていた羽毛が巣立ち後に飛んでいたのかもしれませんが。

写真上: 自宅横の田んぼで営巣中のカルガモ (2020 年 6 月 14 日撮影)。

写真下: 2020 年 7 月 23 日の巣の様子。

ニューズレターへの投稿は、編集事務局: 北村 (shumpei@ishikawa-pu.ac.jp)・百村 (hyaku@agr.kyushu-u.ac.jp) へ。

日本熱帯生態学会事務局

〒739-8529

広島県東広島市鏡山 1-5-1

広島大学大学院先進理工系科学研究科

Tel & Fax: 082-424-6929

E-mail: jaste.adm@gmail.com

The Japan Society of Tropical Ecology

Graduate School of Advanced Science and
Engineering, Hiroshima University

1-5-1 Kagamiyama, Higashi-Hiroshima, Hiroshima

739-8529, Japan

Tel & Fax: +81-82-424-6929

E-mail: jaste.adm@gmail.com

日本熱帯生態学会ニューズレター 120 号

編集 日本熱帯生態学会編集委員会

NL 担当: 北村俊平 (石川県立大学)

百村帝彦 (九州大学)

NL 編集事務局

〒921-8836 石川県野々市市末松 1 丁目 308 番地

石川県立大学 生物資源環境学部

環境科学科 植物生態学分野 (C210)

電話: 076-227-7478, FAX: 076-227-7410 (代表)

発行日 2020 年 8 月 25 日

印刷 創文印刷工業株式会社 電話 03-3893-0111